

総合学習センターだより

No.46

平成 23 年 (2011) 2 月 15 日発行
発行・編集：総合学習センター
公民館報 NO.656
図書館だより NO.383

飯山市の歴史



土偶に込めた縄文人の祈り
深沢遺跡は、縄文時代中期（今から約 5000 年前）の集落遺跡として古くから知られている遺跡です。破片を含め、45 点もの土偶（土の人形）が発見されており、おなかやおしりを強調した表現や、頭部や胴部がばらばらになって出土する状況から、誕生・豊穰・再生などのお祭りに使われたのではないかと考えられています。素朴な顔立ちの中に、縄文人が込めた祈りの形を読み取ることができます。

飯山公民館	電話：62-3342 FAX：62-5940
秋津公民館	電話/FAX：62-2330
木島公民館	電話/FAX：62-0555
瑞穂公民館	電話/FAX：65-2501
柳原公民館	電話/FAX：62-5562
富倉公民館	電話：67-2136 FAX：67-2211
外様公民館	電話/FAX：62-1029
常盤公民館	電話/FAX：62-3200
太田公民館	電話/FAX：65-4579
岡山公民館	電話：69-2010 FAX：69-1800

参加型事業から参画型事業へ 地域文化の継承発展と、優れた素材を宝物に

1 月 19 日（水）、各地区館長・主事合同会議が開催され、本年 1 月 1 日付で瑞穂公民館長に就任された増山保範さんへ、辞令交付が行われました。

会議では、市内全公民館の活動指針となる「平成 23 年度飯山市民館事業の基本方針（案）」が清水飯山市民館長より示されました。

事業の柱として、
①従来の参加型事業から、参加者同士が係わり合う参画型事業を目指し、コミュニティのネットワークを広げる。
②地域文化の継承発展と優れた素材を宝物に変える取り組みを模索する。
③地域が抱える課題の特定や、学びから解決に向けた行動までを想定した事業を進める。
④「飯山らしい社会教育」を進める第一歩として、飯山を知る学び

この他、太田公民館の宮澤章榮館長が再任されました。



瑞穂公民館長
増山 保範さん
(柏尾)

退任者

ありがとうございました
大平 康雄さん

平成 21 年 1 月 1 日より 2 年、瑞穂公民館長を務めいただきました。

就任者

よろしく願います

飯山雪国大学文化講演会

ニュースの日

ニュースキャスター
宮川 俊二氏

入場無料



当日は駐車場の混雑が予想されます。お越しの際は、できるだけ相乗りや公共交通機関でのご来場をお願いします。

午後 1 時 30 分～3 時
(開場：午後 0 時 30 分～)
3/5 (土) 飯山市民館 講堂

多くの皆さまのご来場をお待ちしています

《講師経歴》
1947 年 愛媛県宇和島市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、NHK に入局。チーフアナウンサーを務めていた 1993 年に、同局を依願退職。その後、フジテレビ「ニュース JAPAN」のキャスターとして活躍。現在はフリーとして報道・情報・クイズ・バラエティー等に出演し、多方面に活躍している。

◆ 問合せ先 飯山市総合学習センター（飯山市民館） TEL 62-3342

城下町 ひな街道 いいやま

ふるさと館企画展

ひな人形展

子どもの健やかな成長と幸せを願う
思いが込められた飯山のひな人形。
その歴史の歩みとともにご覧ください。



江戸時代～現代までの
ひな人形を展示します。
ぜひご来館ください。

城下町として栄えた飯山では、都の文化をいち早く取り入れ、古くからひな祭りが行われていました。ひな祭りは飯山藩の武士から城下町の商家へと伝わり、やがて市内の多くの家庭で一般的に行われるようになりました。この企画展では、市内に伝わる江戸時代から現代までのさまざまな種類のひな人形を一堂に展示します。また、市内商店街と連携し、「城下町ひな街道」として市街地にもひな人形が展示されます。

☆開催期間 2 月 8 日（火）～3 月 27 日（日）
※商店街会場は 2 月 12 日（土）～3 月 3 日（木）
☆時 間 午前 9 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）
☆会 場 飯山市ふるさと館企画展示室
☆入 館 料 大人 200 円 小中学生 100 円（市内小中学生は無料、市街地ひな人形展示店では、入館割引券が用意されています。）
☆休 館 日 毎週月曜日（月曜祝日の場合は翌日）

美術館情報 常設展のご紹介

河野文夫の冬景色ほか水彩画を展示

現在、美術館では郷土にゆかりのある美術家の作品約 60 点による常設展示を行っています。

今回の展示では、かつて飯山市内の高校で美術教師を勤め、郷土の美術教育に大きな足跡を残した河野文夫さん（1908～1991、佐賀県出身）の冬景色を描いた水彩画 10 点を展示しています。

このうち、裏表紙に掲載

「寺めぐり案内手引き」を増刷しました

寺の町いいやま学習会が執筆・編集した冊子「寺めぐり案内手引き」は、平成 21 年 3 月に発刊されましたが、発行部数が少ないこともあり、しばらくの間、品切れとなっていました。

ふるさと館では、寺町飯山の学習に最適であることから、学習会の承諾を得てこのほど増刷いたしました。

一部 700 円で頒布しますので、ご希望の方はふるさと館（電話 67-2030）までお申し込みください。

ふるさと館に「天神さん」を展示しました

高校受験や期末テストのシーズンですが、ふるさと館では、天神さん（菅原道真）の土ひなを展示しました。神明町天満社にご協力いた